



2011年5月号

第259号

ここ数年の気候変動は地球温暖化の影響か、夏季は酷暑・豪雨、冬季は酷寒・豪雪で世界的に甚大な被害を蒙るニュースが後を絶ちませんが、ついにわが国も3月11日三陸沖を震源とする東日本大震災が発生。日本列島ほぼ全域に大津波が襲う未曾有の惨状をテレビ映像を見ながら震えが止まらない。自然の猛威を前にして無力感をおぼえます。被災者の方々に義援金の受付、ボランティア団体の支援も展開しています。私達も祈るだけでなく何か出来る筈だと強く思う次第です。

氣を取り直して今年度の親鴨会活動について目を向けると、先ず5月の気候は比較的安定し、風薫り、新緑の季節、活動には最適な季節到来であります。会員並びにご家族の皆様には益々ご健勝のことと推察いたしております。今年度の親鴨会行事も殆どが4月の総会で承認され、いよいよ本格的な行事活動が始まりました。それぞれの行事に積極的にご参加いただき会員相互の親睦を深めつつ親鴨会行事の一層の活性化に繋げて頂きたいと期待致します。

日本経済も相変わらずですが、明るいニュースとしてタイガーマスク現象が印象的でした。他人を思いやる優しい心が善意を呼び起こし、改めて救われる思いにさせられました。明るいニュースが今後も続々登場するようお願いしています。

さて、野洲支部はここ数年会員数197名ながら、活動状況は年々活性化の傾向にあり、確かな力強さを感じております。これには役員の方々の献身のご努力と会員の皆様のご支援ご協力の賜物であることは言うまでもありません。その他、会員の皆さんが地域社会に溶け込んで自分たちが出来る範囲で地域貢献活動に参画していることを見聞するたびに、改めて親鴨会は素晴らしい集団であると再認識しているところです。私事ですが今地域の老人会役員をも兼ねていまして思うことは、行事に参加される方はみんな元気であること、お互い再会の場で刺激しあって更なる元気を貰っていること、人との対話の機会も増えて脳の活性化に大いに寄与している事を実感しています。最近は各支部毎のホームページも充実し便利に活用している会員が増えました。野洲支部でもホームページからの参加申込みが圧倒的に多く、定着度が高まるほどに、その重要性を役員一同認識するとともに更なる充実を目指して努力してまいります。地域社会との触れ合いや、親鴨会行事の機会を活用した会員相互の触れ合いは、情報交換の場のみならず、心身ともにリフレッシュし、豊かな人生に結びつくことと確信します。

野洲支部：柴原 喬